

AI乗合オンデマンド交通のためのシステム（アプリ）を中心として地域の公共交通を再構築し、路線バスとの決済を一括化する。その後シェアサイクルや福祉関連分野の輸送などに範囲を広げ、複数の交通モードの管理を一括化することにより、地域住民や観光客の利便性の向上を目指す。

事業主体

原村

実施時期

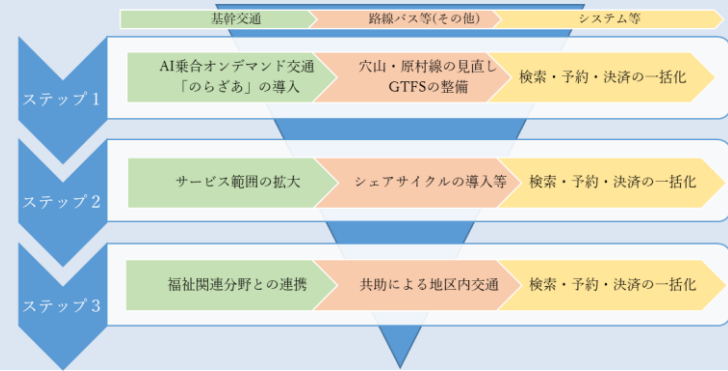
令和6年4月より順次
 (ただしステップ1については令和8年度中の実装を目指す)

事業の目標

隣接する茅野市で展開されている、AI乗合オンデマンド交通「のらざあ」を導入・継続し、定時定路線とオンデマンドの長所を組み合わせた複数の交通モードを連携させ公共交通の効率化と複数自治体のシステム連携による広域的でシームレスな公共交通の構築を図る。また、福祉・観光分野の移動サービスとの一括化による更なる利便性の高い交通網の構築を最終的な目標とする。

実施区域

原村全域および隣接する茅野市の一部



事業の内容

ステップ1 実施後イメージ



大きく3つのステップに分け、各段階ごとに複数の交通モードを一括化(検索、予約、決済の一括化)することにより、早期のMaaS実装を実現する。

ステップ1 AIオンデマンド交通と路線バスの効率化、検索・予約・決済の一括化

ステップ2 サービス範囲の拡大(茅野市側)とシェアサイクル等の導入、検索・予約・決済の一括化

ステップ3 福祉関連分野、共助による交通モードとの連携、検索・予約・決済の一括化

全事業実施後イメージ

